

## 総務文教委員会会議録

### 1. 開催年月日

令和2年12月17日 開会 9時57分 閉会 10時44分

### 2. 開催場所

委員会室

### 3. 出席委員名

上野安是	妹尾文彦	山下憲雄	荒木謙二
柳井一徳	坊野公治	宮地俊則	

### 4. 欠席委員名

なし

### 5. その他の会議出席者

(1) 副議長 大滝文則

(2) 説明員

副市長	猪原慎太郎	総務部長	山下浩道
総務部次長	藤原雅彦	未来創造部参与	久安伸明
美星支所長	伊達卓生	教育長	伊藤祐二郎
教育次長	北村容子	学校教育課長	平木康晴
生涯学習課長	成智千恵	教育総務課長補佐	亀田博行

(3) 事務局職員

事務局長	和田広志	事務局次長	藤原靖和
主任主事	塩出英也		

### 6. 傍聴者

(1) 議員 多賀信祥、三宅文雄、西田久志、三輪順治、佐藤 豊

(2) 一般 0名

(3) 報道 0名

## 7. 発言の概要

**委員長（上野安是君）** 皆さんおはようございます。

若干早いようですけれども、ただいまから総務文教委員会を開会いたします。

初めに、副市長のご挨拶をお願いいたします。

**副市長（猪原慎太郎君）** 皆さんおはようございます。

開会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

それこそ、新型コロナウイルス第3波ということで、大変大きな波がまたやってきております。そういった中で、国におきましては、今まで経済を回すことに軸足を置いておりましたけれども、医療体制が逼迫をしているといったことを受けまして、Go To トラベルの全国的な一時停止といったことで大きな方向転換をされたところでございます。そうした中、本市におきましても、昨日市長が市民の皆様宛ててメッセージを出させていただいております、3点ございます。

まず1点目が、不要不急の往来はできるだけ控えてください。2点としまして、大人数での忘年会や新年会は控えてください。そして最後3点目としまして、帰省については慎重に判断をしてくださいといった3点について、昨日井原放送それからホームページ、メール配信サービスといった媒体を使いまして皆様をお願いをしたところでございます。終息が見えない中ではございますけれども、基本的な感染予防策を粘り強くやっていくことしかないのかなというふうにも思っているところでございます。

先日、「広報いばら」の12月号を発行させていただいておりますが、ご覧になった委員さんもいらっしゃるんだろうと思いますけれども、この時期としては異例の井原市職員の募集の記事が載っていたと思います。事務職とそれから土木技術職の2つの職種について募集をしております。昨年から、採用試験のやり方にいろいろ工夫をしなくちゃいけないということで、今年も7月と9月の2回職員募集をしております。残念ながら、まだ今のところこちらが必要としております職員数に達していないという現状から、ここで再度追加募集ということで記事を載せさせていただいたところでございます。必要な職員数をまずは確保して、市民サービスの低下、もしくは職員の疲弊につながらないような体制をしっかりと取っていきたいというふうに思っております。

今週といいますか次の日曜日12月20日は、全国高等学校駅伝競走大会が京都の都大路で開催されます。コロナ禍ということでもありますので、西京極の陸上競技場がスタート、ゴール地点でございますけれども、その中にも応援で入ることはできない、また沿道での応援も自粛してほしいといった要請も出ておりますので、今年はテレビでしっかり応援しないといけないなと思っております。そんな異様な雰囲気の中、今まで走ったことがないような

雰囲気の中で地元興譲館高校の選手たちが走ってくれるわけでございますけれども、今年一年間何か楽しくない、何か元気が出ない中でございました。そんな中、この年末に興譲館高校の選手たちが私たちに勇気を与えてくれるような、そんなすばらしい走りを見せていただきたいというふうにも思っております。

興譲館ということと言いますと、興譲館高校出身であります新谷仁美選手が、先般行われました日本選手権、女子1万メートルにおきまして日本新記録を出して優勝ということで、東京オリンピックの代表に内定したところでございます。30分20秒ということで、単純な計算をしたんですけれども、1キロを3分2秒のペースで走る、ということは100メートルを18秒、50メートルは9秒のペースで1万メートルを走り切るということで、それを考えると本当にとんでもない記録だなというふうに改めて思ったところでございます。現在、新谷選手の内定をお祝いするという意味で懸垂幕の準備もしております。出来次第、懸垂塔のほうへ掲示をしたいと思っておりますのでございます。

そうした中、本日は総務文教委員会を開催をいただきました。皆様方には何かとご多用の中をお繰り合わせご出席をいただきました。誠にありがとうございます。

この委員会に付託されております案件でございますが、条例案件が2件、教育委員会からの報告事件が1件、所管事務調査事項が1件ということでございます。皆様方には慎重にご審議をお願いしたいと思います。

お手元に本定例会報告事項をお配りをしております。後ほどお目通しのほうよろしく願いを申し上げます。本日はどうぞよろしく申し上げます。

〈議長挨拶〉

〈議案第85号 井原市特別支援教育就学指導委員会条例の一部を改正する条例について〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第86号 美しい星空を守る井原市光害防止条例の一部を改正する条例について〉

副委員長（妹尾文彦君） こちらの条例改正によって星空保護区の認定を受けるための条件を達成するために変えられたんだというふうに認識しておるんですけども、常々気になっていたことがありまして、星を見に来られた方がお店に寄って帰られるということがこれからできるようになればいいなというふうには思ってるんですけども、例えばレストランができたり24時間のコンビニのような、そのような商業施設ができたときに、この条例ではどのような注意点があるんでしょうか。そこをお伺いしたいと思います。

教育次長（北村容子君） 今、ご質問がございましたレストランとかコンビニ、商業施設ができたことによる照明の明るさについてのご質問でございましょうか。

副委員長（妹尾文彦君） はい、そうです。明るさについてどのような制約があるのかということでございます。

教育次長（北村容子君） まず、本条例につきましの定義でございますが、事業者の方にも責務がございます。この条例の中の第7条に、「事業者は、光害を防止するため、必要な措置を講ずるとともに、市が実施する光害の防止に関する施策に協力しなければならない」ということになっております。もし、仮にコンビニができて24時間営業となりますと、そこはやはり光を屋内から遮蔽するようなブラインドを下ろしていただくなどの措置を講じていただくようになろうかと思えます。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（上野安是君） 以上で議案の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思えます。

〈異議なし〉

## 〈所管事務に関する報告について〉

委員長（上野安是君） 本日の報告事項は、令和2年度岡山県学力・学習状況調査結果の概要についてであります。

## 〈令和2年度岡山県学力・学習状況調査結果の概要について〉

委員（宮地俊則君） 先ほどからいろいろと出てくるんですが、4ページ目には肯定的回答割合、2ページ目なら授業内容の理解の肯定率、4ページのほうへ行ったら正解率のような意味合いなんかなと思ったりするけど、肯定率とはどういう意味ですか。初めて聞く言葉ですけど。

学校教育課長（平木康晴君） 4ページ目にあります肯定率というものですが、これはアンケート調査になっておりまして、例えば学習時間でありまして2時間以上やそれ以上しているという項目だったり、1時間以上という項目だったり、それ以下というような項目とたくさん枝分かれしているんですが、1時間以上という集計結果をこちらが集約したいときに、1時間より上の回答、2時間以上というような回答をしている肯定的な意見、狙いよりも上という意見のものを肯定的回答というふうに捉えて一くくりにして数字で表しております。

委員（宮地俊則君） じゃあ、前のほうの肯定率というのは、いわゆる基準より上という、漠然としていますがそういう理解で考えればいいんですね。

学校教育課長（平木康晴君） そう捉えていただいてもいいと思います。

委員（宮地俊則君） 何となく分かりました。

副委員長（妹尾文彦君） 先ほどの考察のところの説明でもあったんですけども、去年の結果は英語が全国平均よりも4%ほど低いことになって、今年は50%になったということで、改善といいますか向上が見られたのかなと思うんですけども、これは何か特別に、去年の結果を受けて指導方法を変えたとか改善を試みたとか、何か具体的なことをされていればお伺いいたします。

学校教育課長（平木康晴君） 一昨年度までは、学力・学習状況調査の中では、国語、算数、数学というものを中心に全国の調査があったんですが、昨年度初めてその中に英語というものが出てきました。その結果を見たときに、もう先ほど言っていただきましたが、全国平均よりも低い数値が出てきたということを受けまして、それまでは国語、算数、数学に重点を置いて授業改善、研究を進めてきていたのですが、やはりその結果を受けてということ

で、どのような授業改善が必要か、どういうふうな取組をこれからしていけばいいのかというのを各学校、各先生方で研修、研究を進めていただいた結果が今年度に出てきているというふうに考えております。

**委員（柳井一徳君）** 1つだけお聞きしたいんですが、岡山型学習指導のスタンダードというこの文言、この意味合いはどのような指導方法なのか、文科省のカリキュラムに沿ったものであるかと思うんですが、ご説明をお願いします。

**学校教育課長（平木康晴君）** 岡山型学習指導のスタンダードというものが、県内全ての教員に配付をされております。児童・生徒に確かな学力を習得させる場である授業を行うための基礎基本や学習基盤を確立するための規律など、学習指導全体を通じて押さえるべきポイントを岡山県教育委員会がまとめたものになります。教員は、この岡山型学習指導のスタンダードというものを意識しながら日々の授業、授業改善を行っているところであります。

#### 〈上野委員長が副委員長に、妹尾副委員長が委員長に交代〉

**副委員長（上野安是君）** 3ページのグラフで、これは小学校3学年、4学年、5学年で時系列でというか、平成30年、平成31年、令和2年と書いてあります。これは、そのときの該当の学年がというグラフでいいんですけども、例えば国語の平成31年の第4学年が52点で、ということはこの子らが1年たったら令和2年の5学年の50点だという見方をすればいいわけですね、まず。どうでしょうか。

**学校教育課長（平木康晴君）** 今、小学校4学年の52点、51点というところで説明をさせていただきますと、同一母体、同じ学年の経年変化になりますので、今年51点だった4年生の子たちが3年生のときには52ポイントだったということになります。同一母体の経年変化ということになりますので、そのグラフを見ていただければその学年のそれまでの経緯が分かるというような形にしております。

**副委員長（上野安是君）** そういう見方ですね。仮に見るとしたら、今の小学校5年生は今年、国語で言ってますけど、50点だった。4年生のときには49点だった。3年生のときは50点だったというのがここに出てきてるということで理解すればよろしいですか。

**学校教育課長（平木康晴君）** そのとおりでございます。

**副委員長（上野安是君）** 分かりました。そういうふうなグラフであると再認識しました。

#### 〈上野副委員長が委員長に、妹尾委員長が副委員長に交代〉

〈なし〉

**委員長（上野安是君）** 以上で所管事務に関する執行部からの報告は終わります。

〈所管事務調査について〉

**委員長（上野安是君）** 本日の所管事務調査事項は、野上小学校・幼稚園における特別学区制度の利用状況についてであります。

このほか、不測の事態により緊急に所管事務調査事項として追加すべきと思われる提案がございましたらご発言願います。

〈なし〉

〈野上小学校・幼稚園における特別学区制度の利用状況について〉

**委員（宮地俊則君）** まだ回答は出ないと思うんですけど、5点目の保護者からの要望に対して、教育委員会としての今のお考えをお伺いできればなと思いますが。

**学校教育課長（平木康晴君）** 保護者の方からいろいろな要望というのが上がってきたときには、やはり関係の機関等々も合わせまして皆さんで解決できるように、協議をしていきたいというふうに考えておりますので、関係機関と連携を取りながら今後考えてまいりたいと考えております。

**委員（宮地俊則君）** なかなかすぐには答えづらいんだろうと思うんですけど、特に2点目の中学校へ進学のときの、そういったケースの不安、心配というのに対しては何かお考えというのはおありでしょうか。

**学校教育課長（平木康晴君）** 中学校では、野上小学校と同じ特別学区制度というのを設けている学校はございませんので、基本的には居住地の指定学校への進学になります。ただ、いろんな状況等々の要件によりましては、指定学校を変更ということが許可される場合がありますので、個別の案件につきましては学校等々にまずご相談いただいて、協議をした上で指定学校の変更ということが可能になりますので、協議をしていきたいというふうに考えております。

**副委員長（妹尾文彦君）** 最初に小学校と幼稚園の在籍数と特別学区制度の利用人数を見

させていただきまして、ほぼ全ての学年で特別学区制度を利用されている児童・園児さんがおられるということが分かったんですけれども、この制度を利用して今後も人数が増えていき、また野上地区の児童さんが卒業して、おられなくなっていくと、今の5年生が卒業したあたりになると、あと野上地区で来られている方が4名ほどになり、特別学区制度を利用される方のほうがかなり多くなると思うんですけど、そのことについて何か地元の方、保護者の方や生徒の方は不安などを特に感じられておられないでしょうか。

**学校教育課長（平木康晴君）** 現在のところ、そういったことで今後どうしていきたいというような要望等々はお聞きしていないところであります。

**副委員長（妹尾文彦君）** この制度を、来年、再来年と今後もずっと続けていくという方針でよろしいでしょうか。

**学校教育課長（平木康晴君）** そう考えております。

**委員（柳井一徳君）** この利用状況の表を作っていただいで拝見しておりますと、幼稚園児の5名全てが特別学区制度を利用されておると。ということは、5歳児が来年度6歳で1年生として野上小学校へ通う可能性があるわけですね。地元の小学校へ通うかも分からない。そうやっていくと、来年、再来年、またその後、人数がぐっと減ってくる。そのことを考えたときに、まだこの制度は継続していくお考えがあるのかどうか、統廃合へ持っていく考え方も出てくるのかどうか、そこら辺のところを教育長にお伺いします。

**教育長（伊藤祐二郎君）** この制度は、平成30年度から実施をして今年で3年目を迎えております。まだこれから先の状況というのを見極めるには、もうしばらくはこの制度を継続したいというふうに考えております。

**委員（柳井一徳君）** ご丁寧にお答えをいただきました。しばらくは経過を見ていきたいということでございます。地元では、本当にお子さんがいなくなっているという状態が続きますので、そこら辺のところもしっかりと考査していただいで将来的なことを考えていただきたいなというふうに思います。

〈なし〉

**委員長（上野安是君）** ないようでございますので、本件については終わります。

以上で執行部をお願いしていただきました所管事務調査については終わります。

ここで執行部の方にはご退席願いたいと思いますが、何かございましたらお願いいたします。

**副市長（猪原慎太郎君）** 終わりに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。



本日は、委員の皆様方におかれましては、慎重にご審議をいただきまして誠にありがとうございました。また、今議会を通じて皆様方からいただいております様々なご要望、ご提言につきましては今後の市政に反映をしていきたいと思っております。

冷え込んできております。寒い日が続いておりますけれども、くれぐれもお体をご自愛いただきますようお願いを申し上げまして終わりに当たりましての言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

**委員長（上野安是君）** 執行部の皆様方には大変ご苦労さまでした。

#### 〈執行部退席〉

#### 〈引き続き所管事務調査について協議〉

**委員長（上野安是君）** 先ほど執行部から説明を受けました野上小学校・幼稚園における特別学区制度の利用状況について、本委員会において今後の所管事務調査事項として調査を進めるかについて皆様のご意見を求めます。

**委員（宮地俊則君）** 私としましては、個人的ですけれども、野上地区においてはこの特別学区制度が小学校、幼稚園に、僅か3年で切り離せないような状況に既になっているんだなと。先ほど教育長のお話でもありましたように、この制度の推移をもうしばらく見守りたいということでありますので、我々としても今は見守っていくべきなんだろうなということ。継続になるのかな、一旦これは切ってもいいのかなと。今たちまち調査することは恐らくないんじゃないかなというふうに思いますので、一旦今日で終わってはいかがでしょうか。

**委員（柳井一徳君）** 私も宮地委員と同じで、そういった意味合いもあって幼稚園児の人数も確認し、将来的に小学校としては経営がやっていけるのかどうかという人数的な問題もあると思いますが、教育長もそのところはしばらく慎重に考えていくというご答弁だったので、我々としても一旦ここはもうこれで教育委員会の方針を見守るべきであろうというふうに思っております。その後に、統廃合であるとか義務教育学校であるとか、そういった制度の研究は必要になってくるであろうと思っておりますけれども、現在はそこまでは入り込むことはないんじゃないかなというふうに思います。

**委員長（上野安是君）** それでは、この調査事項についてはここで終わるということよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（上野安是君） 以上で所管事務調査は終わります。

〈議長挨拶〉

委員長（上野安是君） 以上で総務文教委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。